

小雨交じりの中、3,508人が駆け抜ける

第25回旭市飯岡しおさいマラソン大会

旭市飯岡しおさいマラソン大会が2月2日に開催。小雨交じりの空模様にもかかわらず、市内外から3,508人のランナーたちが参加し、海辺のコースを駆け抜けました。

またメイン会場のいいおかユートピアセンターでは、豚汁やお汁粉などが振る舞われたほか、コース上でもイチゴやミニトマトの無料配布、おはやしが行われるなど、大会を盛り上げる市民の姿がありました。



①風を切って走るランナーたち
②ちょっと止まってイチゴをパクリ
③手をつないで一緒にゴール(親子の部)

種目別10位以内(市内在住者)

※敬称略

種目	順位	氏名	タイム	
2 km	5	小林祥康・康人	7'19"	
	7	高尾淳・啓太郎	7'33"	
	8	鈴木諒・陸斗	7'40"	
	9	石橋勉・楓	7'52"	
	10	根本洋・莉有 <small>りある</small>	7'55"	
3 km	7	平野亮	11'21"	
	10	家鍋修平	11'55"	
5 km	男子	中学生	1 坂田康樹	16'55"
		4 鈴木駿	17'04"	
		8 鈴木諒	17'19"	
	39歳以下	9 豊田能一	17'19"	
		2 多田真一郎	16'16"	
	40~59歳	10 貫川貴之	17'59"	
		8 花澤淳	18'10"	
	女子	中学生	2 大木奈美	18'35"
			4 加瀬千奈未	18'55"
			6 木内佳奈子	19'27"
39歳以下		3 大木亜美	19'07"	
		10 飯田道子	24'22"	
40歳以上		5 加瀬厚子	24'52"	
		7 加瀬美恵子	24'55"	

種目	順位	氏名	タイム
10 km	男子	2 畑上陸	32'49"
		4 鷺山桂太郎	33'33"
		6 柴山拓也	34'28"
	30~39歳	5 伊藤正治	35'58"
		3 伊東重和	36'48"
	60歳以上	1 鎌形昇	40'30"
		8 佐賀井稔	46'10"
		2 藤ヶ崎朱音	44'52"
女子	6 加藤瑠菜	47'55"	
	3 鈴木なえ子	47'33"	
40歳以上	5 家鍋ふく子	49'34"	
	男子	8 伊藤修	1° 18'40"
9 野口幸啓		1° 30'05"	
1 武田徳光		1° 31'08"	
女子	1 宮崎めぐみ ※7連覇	1° 22'40"	
	6 天野かおり	1° 37'06"	
	6 神田知恵子	1° 37'12"	

※全記録をテクノプラン(株)のホームページ(<http://tecnoplan.co.jp/>)で見ることができます。

沖縄交流事業

沖縄の友達と久しぶりの再会に笑顔

姉 妹都市の沖縄県中城村^{なかぐすくそん}から、中城小、津覇小、中城南小の児童18人が2月12日と13日の2日間、旭市を訪問しました。

歓迎交流会では、昨年夏に同村を訪問した豊畑小、飯岡小、三川小の児童20人と再会。学校紹介や互いの郷土芸能の発表のほか、手作りの名刺を交換し合ったり、一緒に写真を撮ったりして、久しぶりの再会に笑顔を見せていました。

- ① 沖縄舞踊「エイサー」を披露する中城村の児童たち
- ② あさびーと一緒に記念撮影
- ③ 「久しぶりー」恒例の名刺交換



第9回旭市環境衛生大会

できることから始める環境活動

旭 市環境衛生大会が2月8日、東総文化会館で開催され、地域の環境美化に尽力された5人と3団体、環境美化に関する標語コンクールで入選した小中学生18人が表彰されました。また千葉県環境学習アドバイザーの井上健治さんが「できる人が できる時に できる事を！」と題し講演。自身が取り組んでいる、地域でできるごみの減量や資源化の活動事例を挙げながら、限りある資源を大切に利用する、循環型社会実現の必要性を話していました。



「買い物はマイバッグで」と井上さん

サンライズプラン冬の交流会

子どもから学ぶ「循環型農業」



学びの成果を歌やダンスなどで発表(中和小)

環 境に優しい循環型農業を推進する「サンライズプラン」。これに参加する生産者や消費者、農協などが集い、1月31日に干潟公民館で交流会を行いました。

この日は環境調査を行った鶴巻小と中和小の児童たちが、水田や水路で見つけた生き物を、クイズや歌などにして発表。児童たちは「たくさんの生き物を知れてよかった」「楽しかったよ」などと話していました。

1 19 「地元愛」で考える社会



弁を振るう傍士さん

海匝・山武地域男女共同参画セミナーが、いいおかユートピアセンターで開催されました。この日は「ご当地ナンバー」の提唱者傍士銚太さんが、まちづくりをテーマに講演。

原動機付自転車(原付バイク)のオリジナルナンバープレートなどの例を挙げ「地元愛です。いかに自分の町を愛しているかを表現したらいい」などと話していました。

1 25 トップ選手たちが小中高校生たちを指導



三谷選手の指導を受ける生徒たち

NTT東日本のバドミントンスポーツチームを招いての東総地区バドミントン講習会が、総合体育館で行われました。

この日は、ロンドン五輪代表の田兒賢一選手や全日本総合選手権女子シングルス優勝の三谷美菜津選手たち18人が訪れ、市内外から参加した約200人の小中高校生たちを指導。選手たちの言葉に耳を傾け、練習に臨む参加者たちの姿がありました。

2 2 豊年満作などを願って神楽を奉納



受け継いできた伝統の演舞

「水神社永代大御神楽」が、後草にある境内で奉納されました。豊年満作などを祈念し、古くから奉納されてきたこの神楽は、千葉県指定無形民俗文化財の一つ。この日特別に組

まれた舞台では、氏子衆などが代々受け継ぐ演舞を披露していました。

2 8 剣士たちの掛け声が響く！



一瞬の隙を突く竹刀さばき

剣道を通して心身共に健全な青少年を育成しようと、旭タッチヤング剣道大会が、総合体育館で行われました。市内外から大勢の小中高校生が参加し、日ごろの鍛錬の成果を

披露。会場には、剣士たちの掛け声と竹刀を打ち込む音が響いていました。

生涯骨太クッキング

乳製品を使った料理でカルシウム不足の解消を



料理をしながら「わいわい、がやがや」

普段の食事に乳製品を取り入れ、不足しがちといわれるカルシウムを取ってもらおうと、生涯骨太クッキングが2月6日に旭市保健センターで行われました。旭市保健推進員の指導の下、参加者たちが牛乳やチーズなどを使って作ったのは、マーボー豆腐やいなりずしなど4種類。出来上がった料理を試食し、参加者たちは「普段の食事に取り入れてみよう」「参加してよかった」などと笑顔で話していました。

第9回旭市子ども会書き初め展

「小さな書家」の作品目白押し



ホールに並ぶ力作を見つめる来場者

市内子ども会の芸術文化活動を推進しようと、毎年開催される書き初め展。今年は411点が寄せられ、1月19日～26日に市民会館で展示されていました。特別賞の受賞者は次のとおり。※敬称略、()は子ども会名。

市長賞／飯島向日葵(新田) 市議会議長賞／小林恵里(網戸第二) 教育長賞／嶋田みなみ(後草) 文化協会長賞／鈴木倫(新町下一・下二) 青少年相談員会長賞／渡辺優(六区北部) 市子連会長賞／川口姫和(田町)